

「沼津市の目指すべき将来の都市の姿を語る会」 市民の皆様からいただいた意見と市からの回答一覧

「沼津市の目指すべき将来の都市の姿を語る会」において、数多くの市民の皆様から貴重なご意見・ご提言をいただきました。ご協力ありがとうございました。

いただいたご意見・ご提言及び市の考え方、計画への反映については、下記のとおりとさせていただきます。

1. いただいた意見等及び市の考え方

番号	意見の内容(要約)	意見に対する考え方	関連ページ	修正の有無
資料等への質疑				
1	将来都市構造に“南北都市軸”や“東西交流連携軸”が示されているが、具体的には何を行っていくのか。	持続可能なまちづくりをしていくためには、拠点間をつなぎ魅力を高め、まちの交流を活性化させる公共交通網の維持・向上と幹線道路網の強化を図っていきます。	P45 P46	無
2	鉄道高架事業を行うことが前提としたまちづくりの方針だが、駅に南北自由通路を設置した場合のまちづくりの方針も示してはどうか。	沼津駅周辺総合整備事業については、上位計画に位置付けられており、鉄道高架を含めて都市計画決定されていることから、これらを踏まえたまちづくりの方針を示しています。 今後、都市計画の方向付けが変わる場合には、内容に応じた改定を行っていきます。	P56	無
3	普通の都市計画マスタープランであると感じるので、沼津らしさを内容に組み込めないか。	沼津らしさとは中心市街地に近接した地域資源があることであり、具体的には、「狩野川」、「香貫山・沼津アルプス」、「沼津港」などの市街地の中にある拠点や資源をうまく活かしていくことが「沼津らしい」まちづくりにつながるものと考えており、計画にも「健康・文化・交流ゾーンの形成」を組み込んでいます。	P57	無
4	第三地区は、津波避難タワーや津波避難ビルがほとんどない。沿岸部で家を建てる際に、建物の高さを10m以上にすれば、市が援助してくれるような仕組みができないか。	いつ来るのかわからない津波に対して避難場所を確保する必要があることから、「避難ビルの充実・強化」を記載しております。避難ビルが不足する地区につきましては、建築物の高さの確保に加え、耐浪性・耐火性のあるものへの建替え支援などを検討していきます。	P81 P82	無
5	将来都市構造の南北の位置づけが少ない。南部にも東海大学跡地のような広大な土地(西浦地区の“人と動物の未来センター”の建設を予定していた土地)が存在していることから何らかの位置づけをしてはどうか。	いただいたご意見を踏まえ、西浦地区を「新たな都市的土地利用の可能性を検討する地区の方針」に記載します。	P91 P96 P97	有
市長への意見				
6	都市的居住圏にワンコインバスの復活をして欲しい。	今後、既存のバス路線の再編と併せて検討していきます。	-	無
7	海上交通として、沼津港、戸田、三津等を結んではどうか。	沼津港、戸田、土肥を結ぶ海上交通については、平成29年度の民間事業者が行う試験運航に対して支援を行います。	-	無
8	駐車場がある公園や雨天時に利用できる施設が併設された公園など、子育て世帯が利用しやすい施設があるといい。	子育て世帯のニーズに対応した利用しやすい公園の再整備などを検討していきます。	-	無
9	沼津市の若い人は、市外に出ていってしまう方が非常に多いので、若者の就職先が欲しい。	若者の就職先については、沼津ごと応援サイト「ぬまジョブ」を活用し、本市内にあるオンリーワンの魅力を持った多くの企業などのPRに努め、市内外の学生等に「こんな沼津の企業で働きたい」と思ってもらえるよう、情報発信を行っています。	-	無